



公益社団法人 日本証券アナリスト協会 個人投資家様向けIRセミナー



内外トランスライン株式会社

International Freight Forwarder

東証一部 9384



連結業績

単位:百万円	2017	2016	対前年 増減率(%)	2017 期初計画	対計画 増減率(%)
売上高	21,709	19,979	8.7	21,500	1.0
営業利益	1,500	1,309	14.6	1,500	0.0
経常利益	1,588	1,333	19.1	1,500	5.9
親会社株主帰属 当期純利益	1,192	438	171.8	1,100	8.4
為替レート(USD)	112.17	108.81	3.36	108.00	4.17

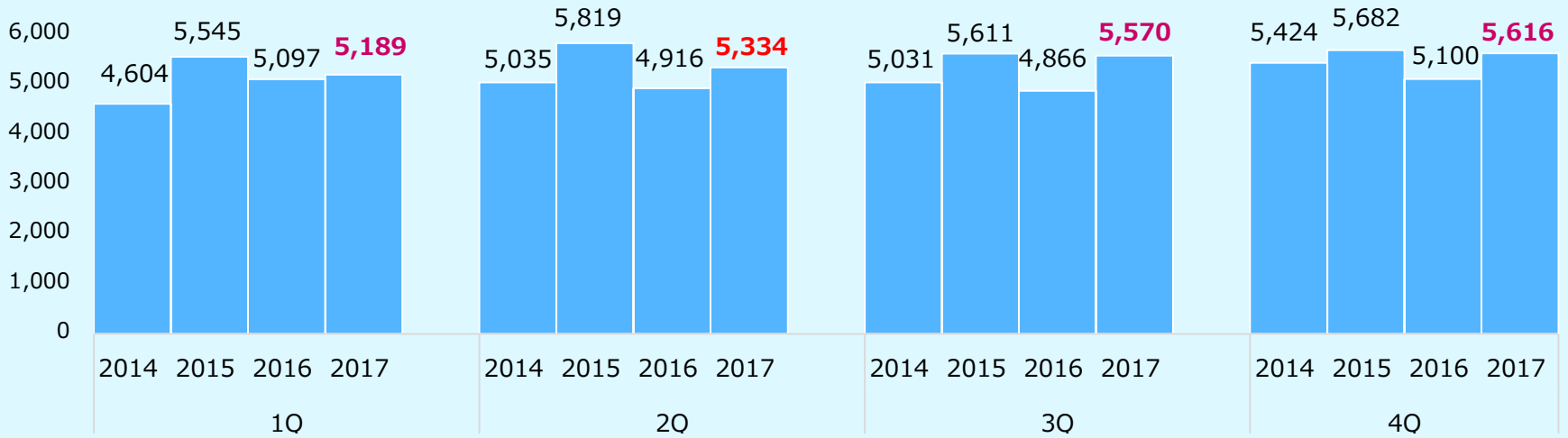
(為替レートの増減は円の変動幅)



連結売上高と営業利益の四半期別推移

(百万円)

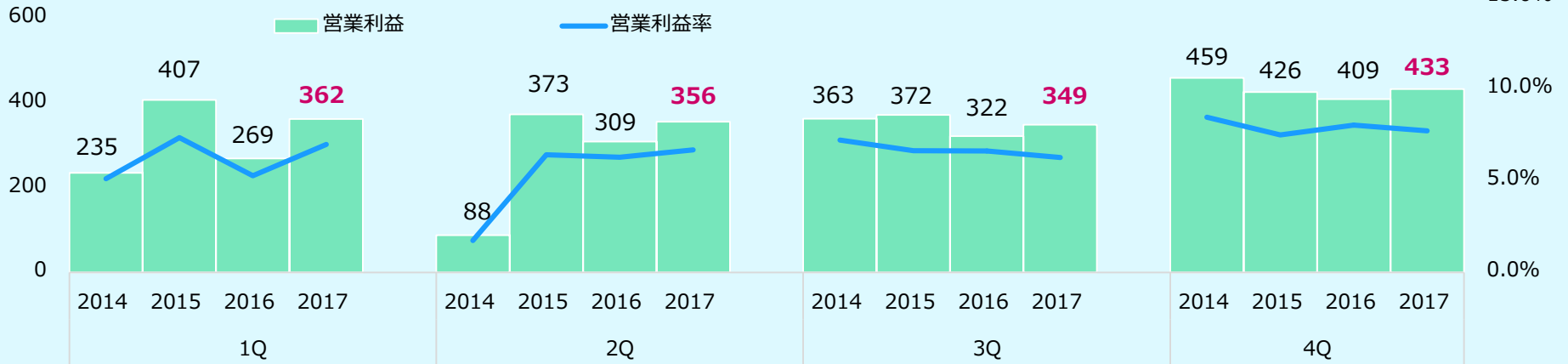
連結売上高



(百万円)

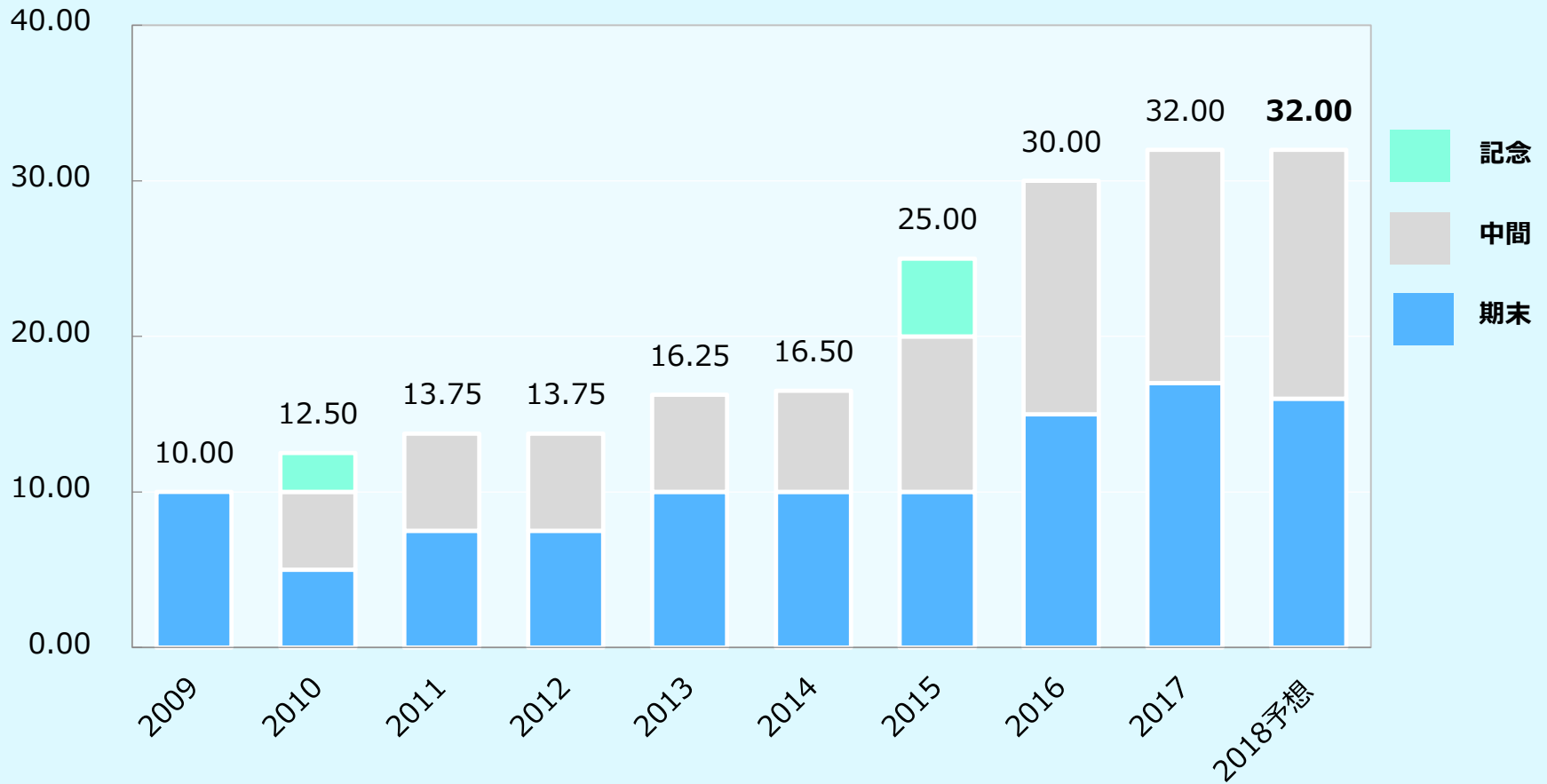
連結営業利益と営業利益率

(営業利益率/%)



配当金の実績と計画

(配当金/円)



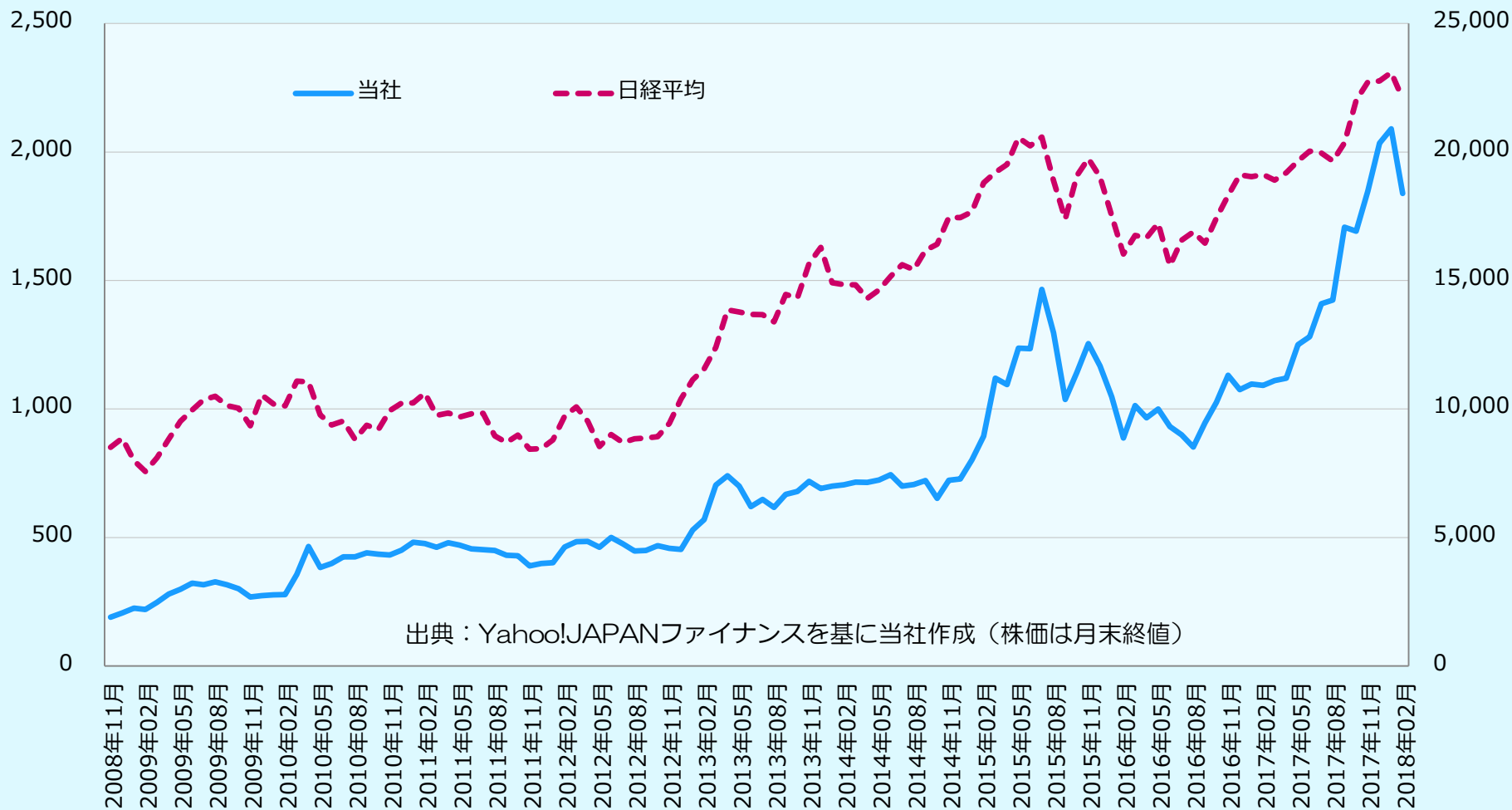
※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示



当社株価と日経平均の推移

(当社/円)

(日経平均/円)



会社概要

- ・ 設立 1980年5月1日
- ・ 資本金 243百万円
- ・ 決算期 12月
- ・ 配当 中間・期末
- ・ 事業種目 貨物利用運送事業(外航海運・国際航空・鉄道)
海空陸複合一貫輸送、陸上運送取次業
海運代理店業、通関業、損害保険代理店業
- ・ 国内事業所 大阪(本社)、神戸、東京、横浜、名古屋、福岡
- ・ 海外現地法人 シンガポール、タイ、インドネシア、中国、米国、韓国、
香港、インド、深圳、ミャンマー
- ・ 海外合併会社 内外銀山口ジスティクス株式会社
- ・ 国内子会社 株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパン
フライングフィッシュ株式会社

貨物輸送の区分

当社グループにおけるビジネス

国際・国内	輸送手段	輸送手段の保有	作業区分・作業内容
国際物流	船舶 (海上)	無 ⇒ 利用運送業者 ・フォワーダー ・NVOCC(*) ・航空フォワーダー	輸送・混載 (LCL) ・フルコンテナ輸送 (FCL) ・国内外配送
	航空機 (航空)	有 ⇒ 実輸送業者 ・船会社 ・航空会社 ・鉄道会社 ・トラック会社	荷役・仕分 ・入出庫 ・コンテナ(トラック)積降
			輸出入通関
			梱包

協力会社による対応

国内物流	鉄道・トラック (陸上)
------	-----------------



流通加工・検品、検針 ・補修 ・タグ付、値札付
物流情報・カーゴトレース ・流通在庫
保管

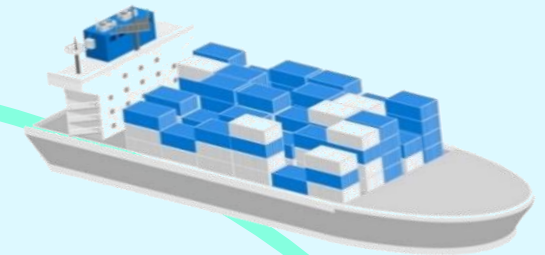
(*)NVOCC : Non-Vessel Operating Common Carrier

海上コンテナ輸送のイメージ

規格サイズのコンテナによる積載効率・時間の短縮
定曜日サービスによる確実な所要日数
地球にやさしく大量輸送が可能



混載輸送 (LCL)の仕組み



船会社への運賃支払は
コンテナ1本単位

コンテナに積載する
荷主数・物量が
収益機会に直結



顧客への運賃請求は、容積 (M³) 単位
効率良く積載することで売上額に直結



神戸指定倉庫で様々な形態の貨物を
効率良くコンテナドアサイドまで積載



到着地でコンテナから貨物を取り出す作業 2018年2月26日【月】
於：NAIGAI EUNSAN LOGISTICS CO., LTD.



倉庫にコンテナを横付



貨物を取り出し荷主毎に保管



自社施設（倉庫）による作業でより安全・確実なサービスを実施
積地・揚地双方で収益を確保



積載効率向上のため
独自開発ラックを
使用した混載コンテナ



フルコンテナ輸送 (FCL)の仕組み



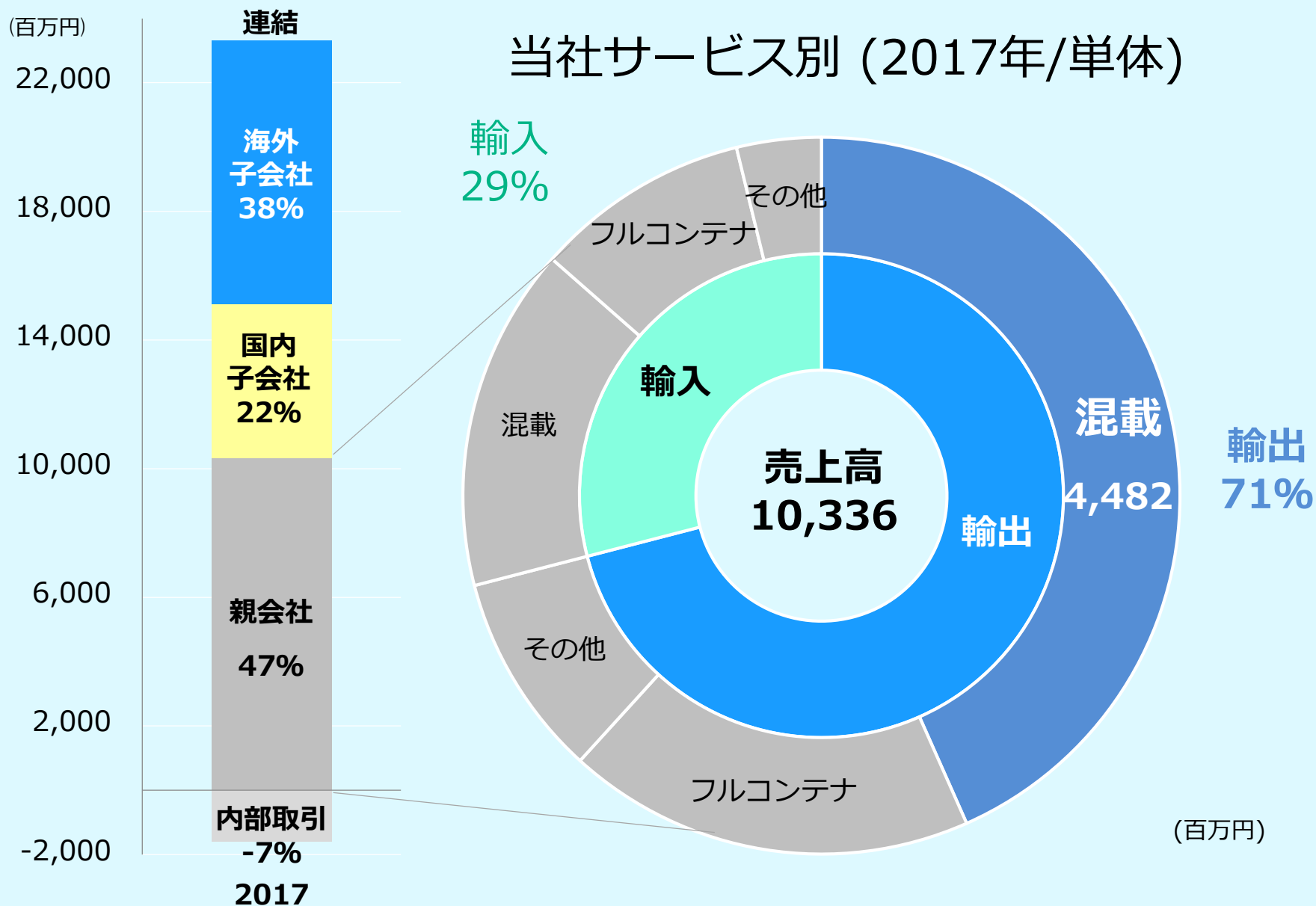
船会社への運賃支払も
コンテナ1本単位



顧客への運賃請求は、コンテナ1本単位

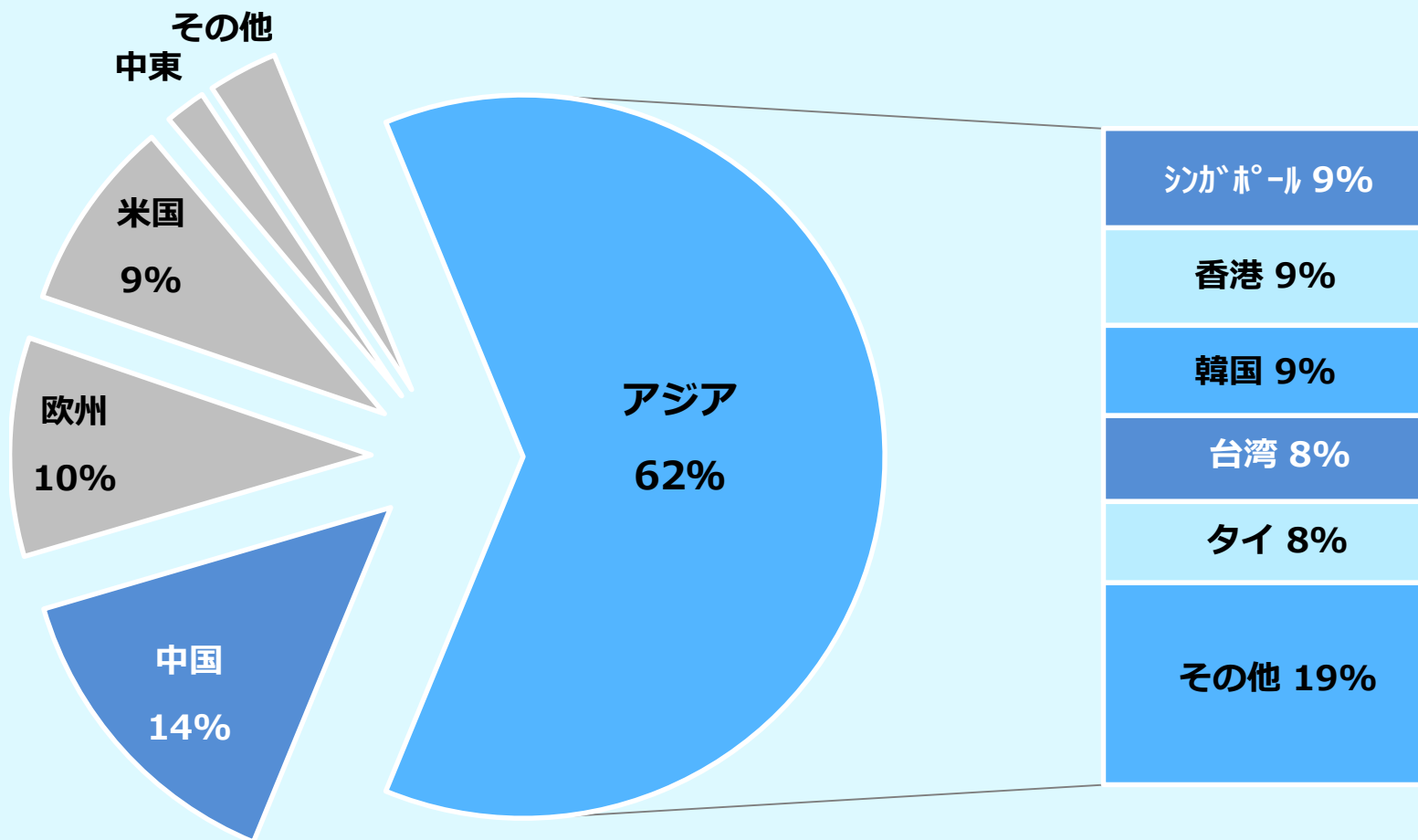
収益機会が
限定的

強み1. 収益性の高い海上輸出混載が主力商品



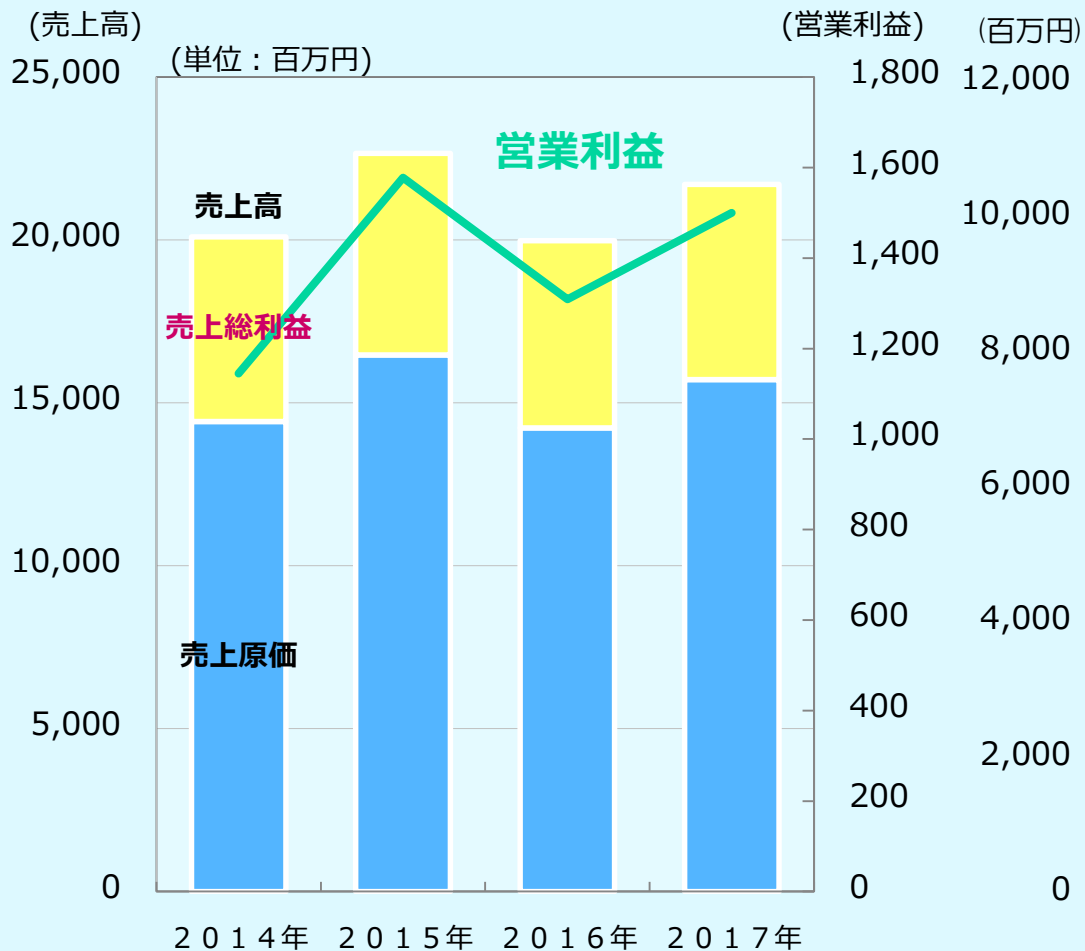
強み2. 成長を続けるアジア向け輸出が主力

仕向地別輸出LCL売上シェア (2017年/単体)



強み3. 力強い財務基盤(連結)

売上高と営業利益

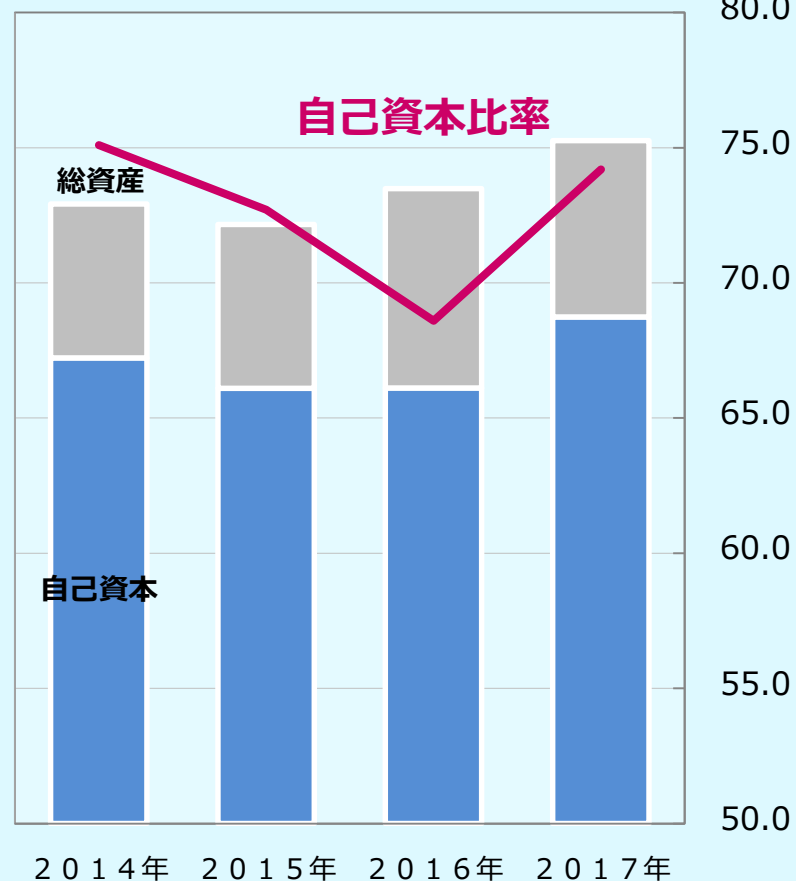


■ 売上原価 ■ 売上総利益 — 営業利益

総資産と自己資本比率

(自己資本比率

/%)

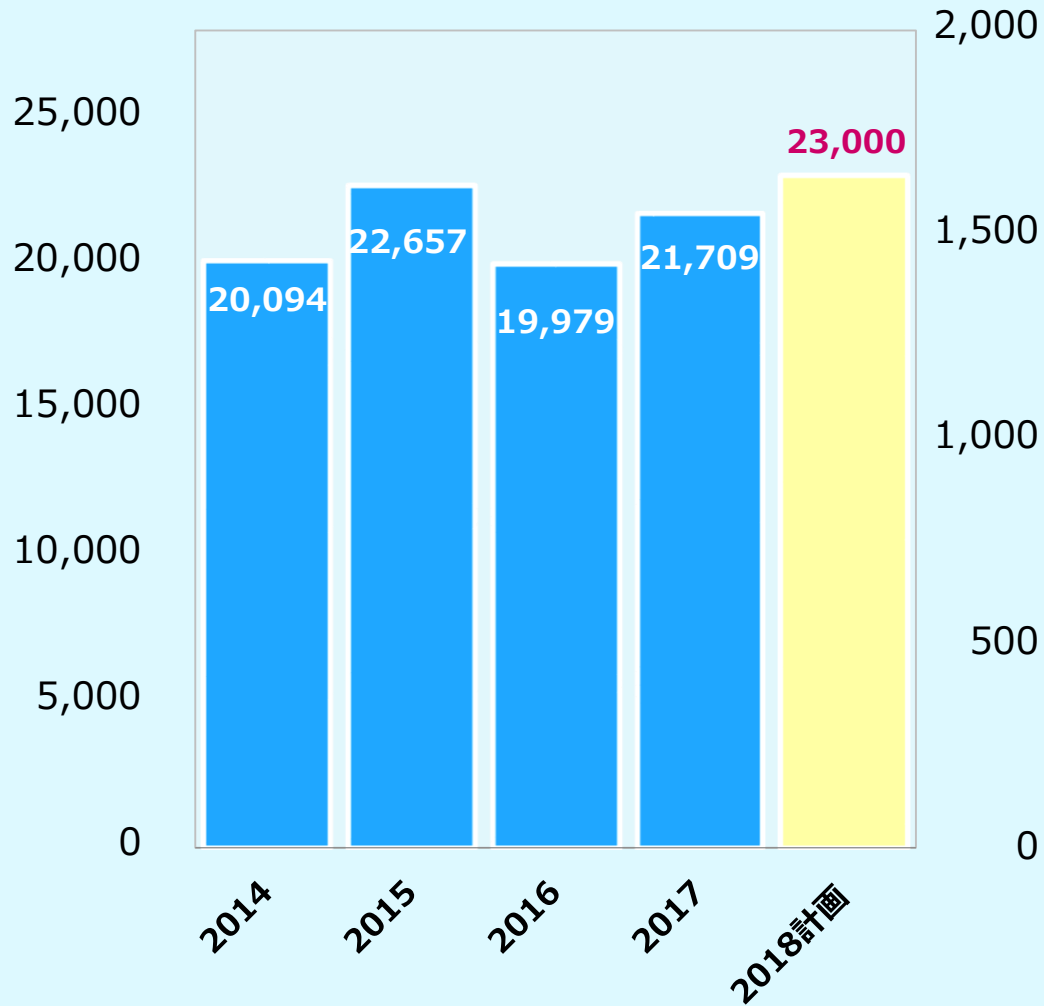


■ 自己資本 — 自己資本比率

連結業績予想

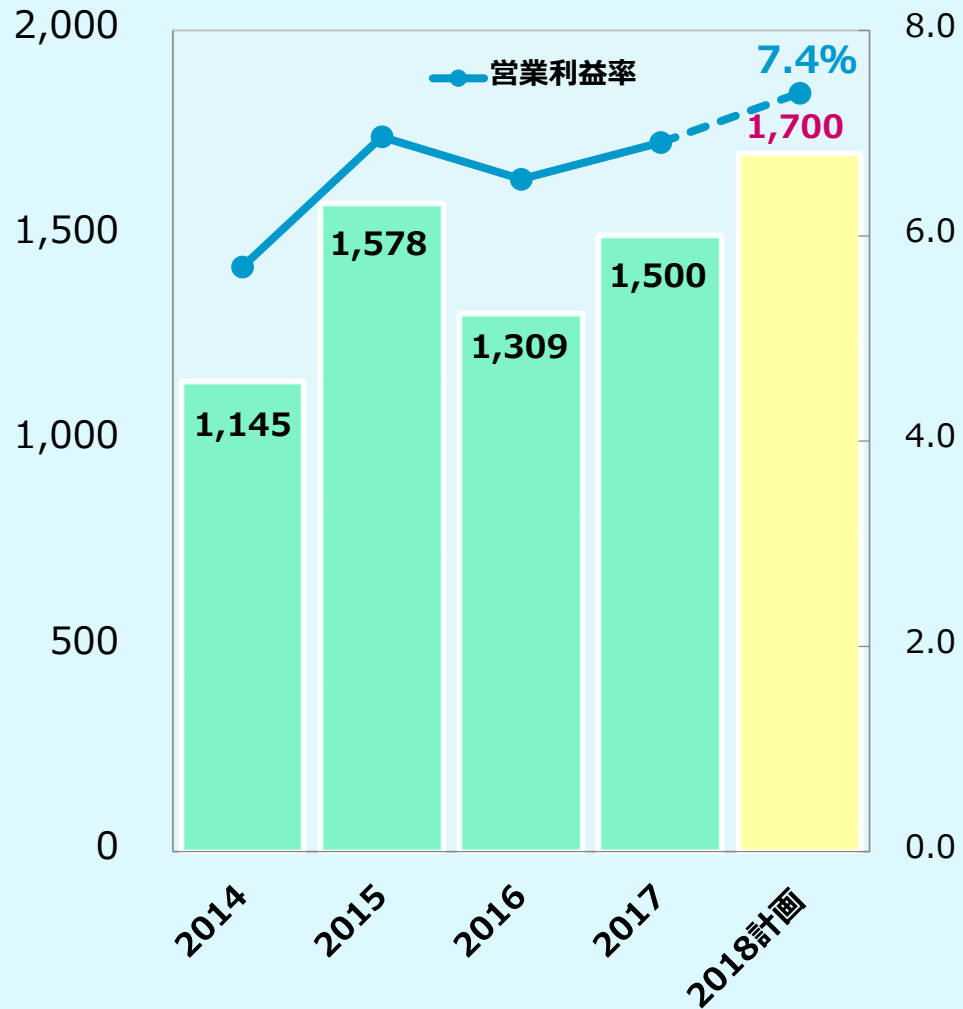
売上高

(百万円)



営業利益

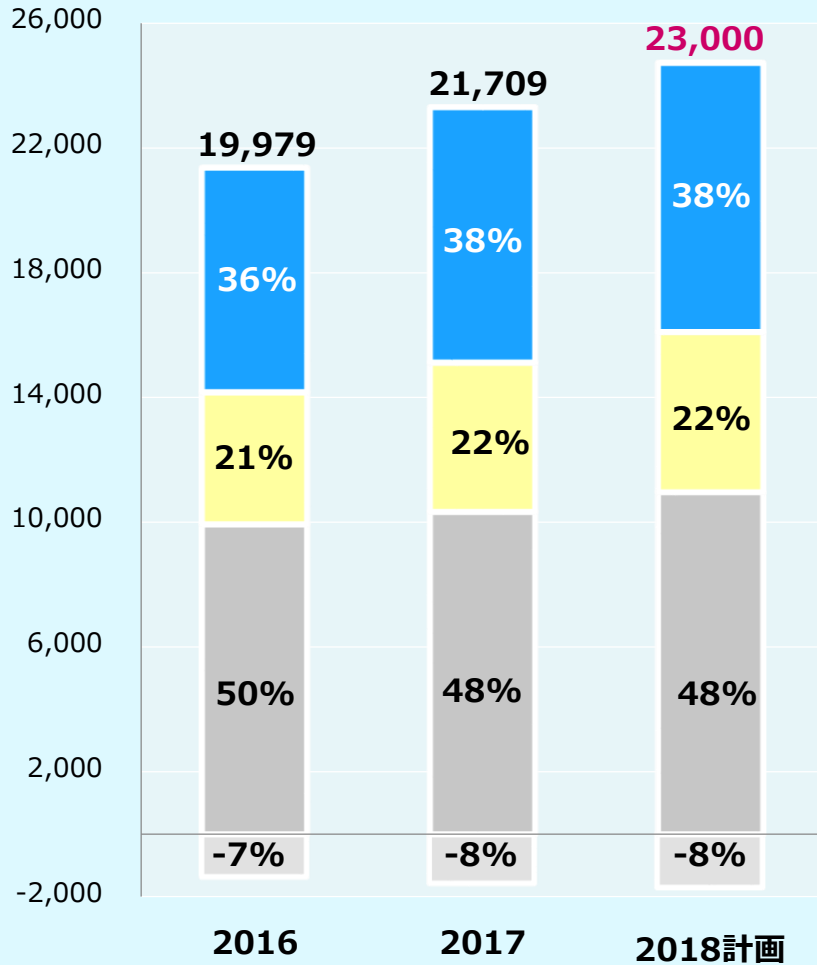
(%)



グループ別業績予想

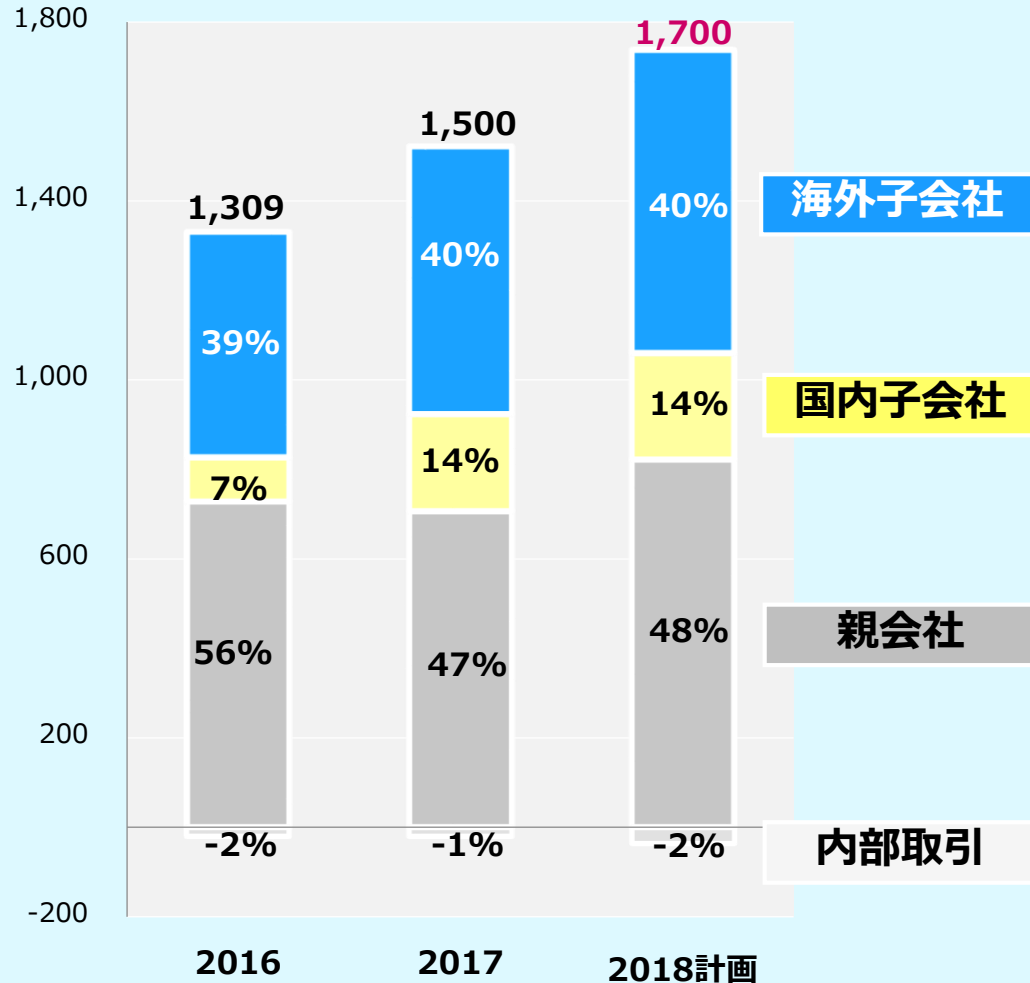
(百万円)

売上高



(百万円)

営業利益



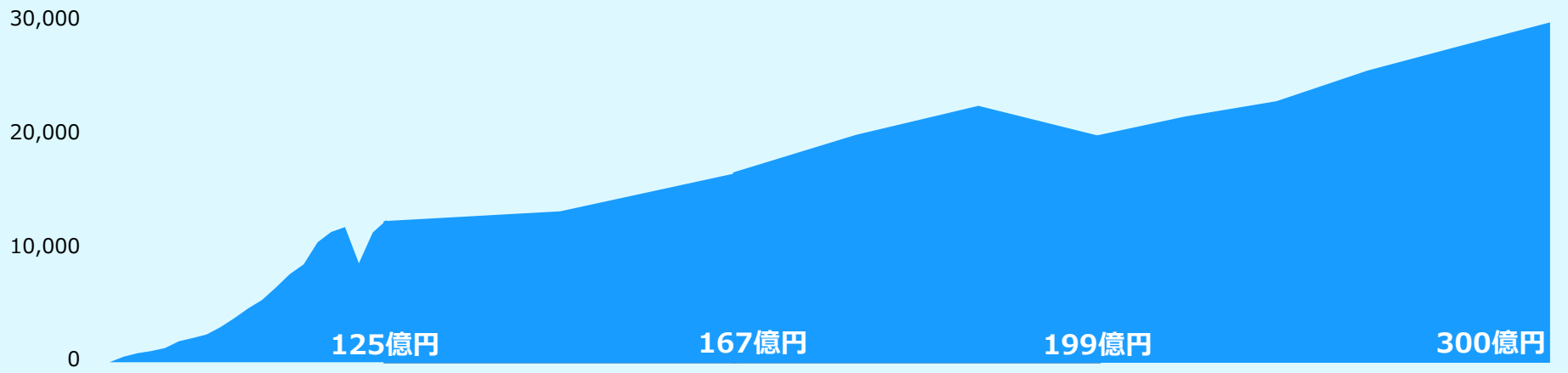


当社グループの成長と中期経営計画



1980 2011 2013 2016 2019

<p>会社設立 東証第二部 (2008年11月)</p>	<p>輸出混載を基軸に フォワーディング サービスを充実 国際総合フレイト フォワーダー をめざす</p>	<p>国際総合フレイト フォワーダー事業 の確立 東証第一部 (2015年3月)</p>	<p>国際総合フレイト フォワーダー事業 の成長 数年内に 売上300億円</p>
--	--	--	---





Added Value – 更なる拡大を目指し





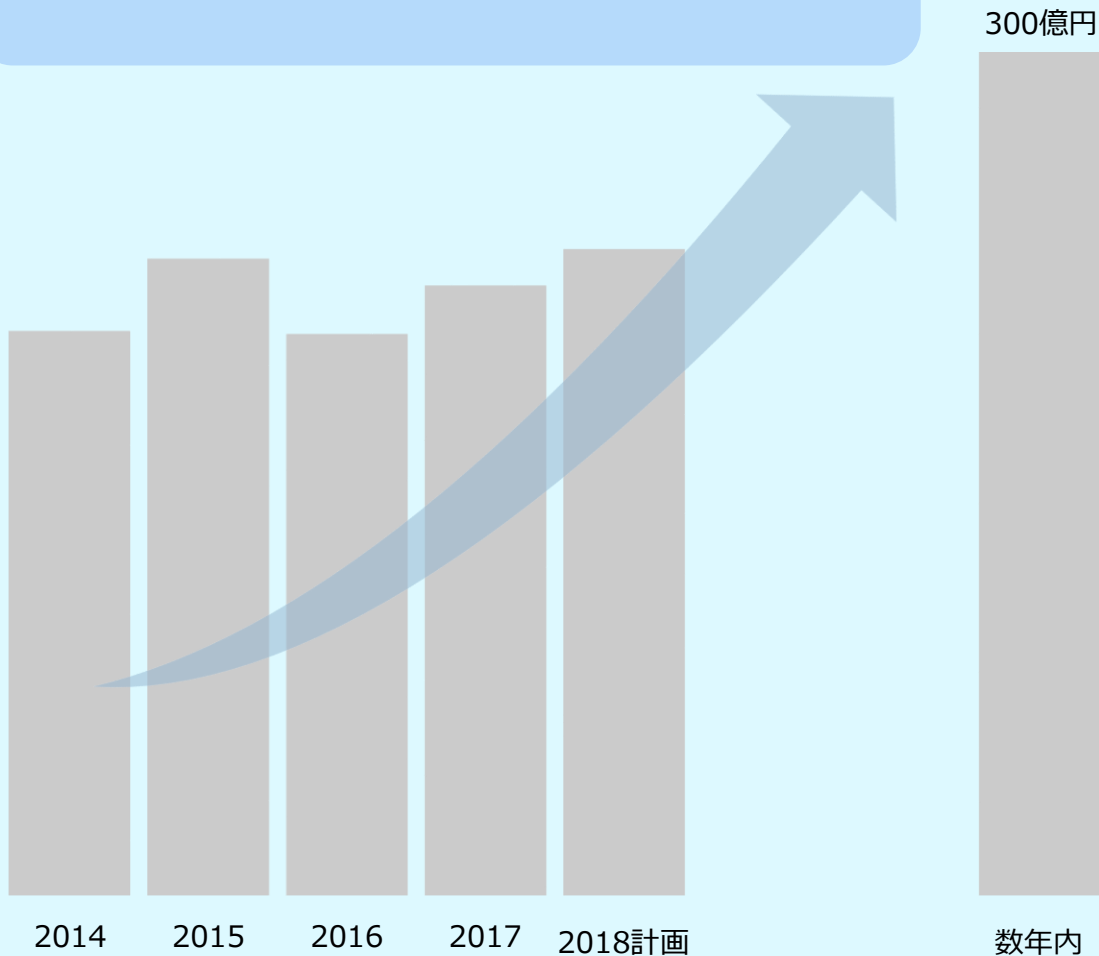
中期経営計画連結数値目標 (2017~2019年度)

売上高
数年内に
300億円達成

営業利益率
7%以上

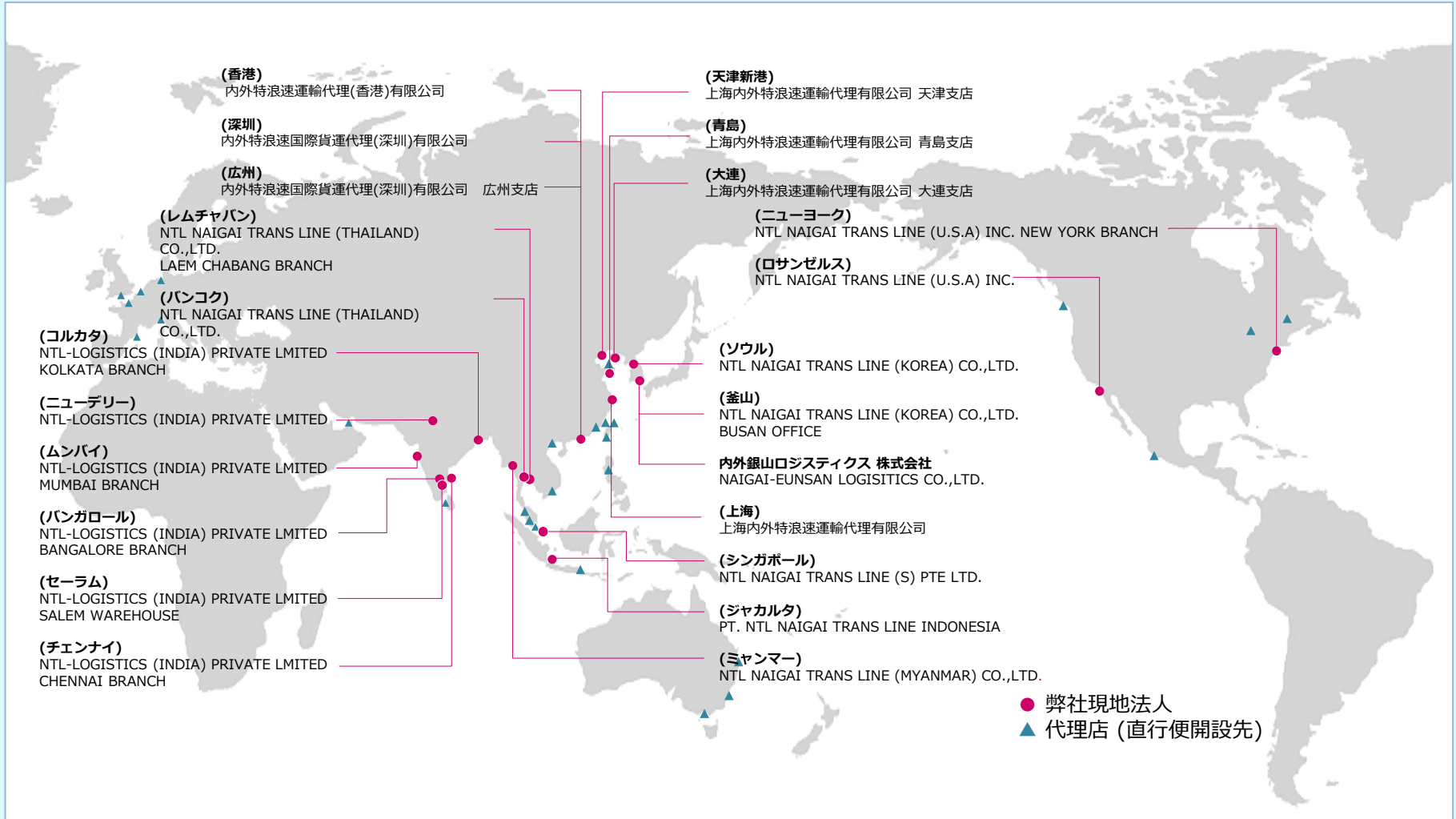
ROE
14%以上

売上の拡大と利益の増加により
経営基盤の安定と業容の拡大に努める





アジアへのさらなる戦略的展開

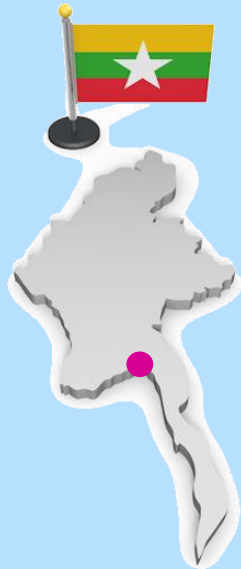




2017 TOPICS / 新たな事業展開

ミャンマー

国際フォワーダーの子会社化
(2017.8)



日本－ミャンマー間の輸送のみならず当社グループ企業との連携により、更なるグローバル体制の拡大に寄与する

タイ

レムチャバン支店開設
(2017.10)



タイ最大の国際貿易港に拠点を置くことで顧客の利便性の向上と、近郊工業団地への営業強化と業容拡充を図る

(ご参考) 株主優待制度

対象株主

毎年12月31日現在の下記保有株主に応じた株主様

100株～200株未満

カタログより1,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



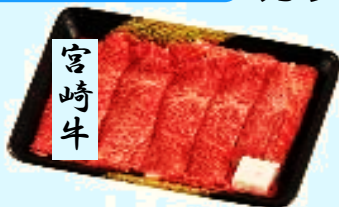
200株～4,000株未満

カタログより2,500円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択

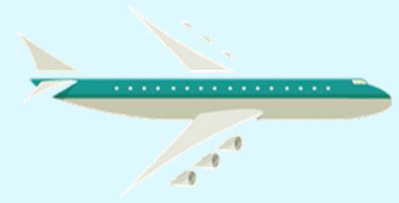


4,000株～

カタログより5,000円相当の商品か日本ユニセフへの寄付を選択



* 写真は本年カタログ掲載商品の一例



ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社 NAIGAI TRANS LINES

取締役 IR担当 田中 俊光
取締役経営企画部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。





MEMO